

# 岡山療護センター交流会申込書 (2014年10月12日開催)

⇒FAX 03-6661-1585

(ふりがな)		(ふりがな)	
依頼者氏名	( 歳)	被害者氏名	( 歳)
被害者との関係 (本人・父・母など)		被害者の 生年月日	T・S・H 年 月 日
電話番号	自宅	携帯	Fax

無料法律相談を希望されますか？

はい・いいえ (どちらかに○を付けてください)

## 【交流会参加メンバー】



児玉 正弘(当会理事長)

神奈川県在住。  
2003年長女(当時21歳)が交通事故により遷延性意識障害の重傷を負う。協力弁護士の尽力で損保側主張を覆し完全勝訴。  
現在は自宅で介護を行っている。皆様のよりよい解決を心よりお祈りしています。



佐藤 則男(当会理事長)

千葉県在住。  
2001年長男(当時20歳)が交通事故により遷延性意識障害の重傷を負う。裁判では余命10年という損保側主張を協力弁護士と共に覆した。  
現在は自宅で介護を行っている。経験者としての立場から支援ができれば幸いです。



五百部 和子(アシスタント)

埼玉県在住。  
2002年、長男(当時28歳)が交通事故により高次脳機能障害の重傷を負う。交通事故に詳しい弁護士に損害を主張してもらうことで、家族でしかわからない障害の程度の重さを立証し、過失割合も相手方の主張を退け10%に。現在は長男は後遺障害のため職が定まらず、見守り介護中。



西口 美恵子(当会会員)

千葉県在住。  
1999年、当時小学校1年生の長女が信号のない横断歩道を横断中、普通貨物にはねられ、遷延性となり入院。1年経過後現在まで自宅介護中。和解にて結審。主に小児のケースにアドバイスが出来ると思います。家族の趣味は長女を連れての海外旅行。

※なお参加予定メンバーは介護等の都合により変更になる場合がございますのでご了承ください。

